めいぷる〜ぷ ルートマップ

meipuru-pu

地図の凡例

- 「⑦並木通り入口」停車後、「⑧新天地」に停まります。
- 「⑦並木通り入口」停車後、「⑩現代美術館前」に停まります。
- 被爆建物
- 広島電鉄「路面電車」

観光ループバス「めいぷる〜ぷ」

① 広島駅新幹線口

② 県立美術館前（縮景園前）

③ 広島城（護国神社前）

④ ひろしま美術館前（市民病院前）

⑤ 原爆ドーム前

⑥ 平和公園前（広島平和記念資料館前）

⑦ 並木通り入口

⑧ 新天地

⑨ 県立美術館前（縮景園前）

⑩ 現代美術館前（まんが図書館）

A 広島城

B 原爆ドーム

C 広島平和記念資料館

D 縮景園

E 広島県立美術館

F ひろしま美術館

G 広島市現代美術館

JR広島駅

minamoa・ekie

広電広島駅

観光案内所

至マツダ→スタジアム

観光施設のご案内

A 広島城

1589年毛利輝元が築城を開始し、その後福島氏・浅野氏の居城となりました。天守閣は原爆で倒壊したあと、1958年に再建されました。2026年に天守内部の公開は終了しましたが、天守の外観は引き続きご鑑賞でき、二の丸復元建物も見学できます。

「③広島城（護国神社前）」バス停から徒歩約6分
☎082-221-7512

B 原爆ドーム

被爆前は「広島県産業奨励館」という名称で特産物の展示・販売などを行っていました。被爆後、いつの頃からか「原爆ドーム」と呼ばれるようになり、核兵器の廃絶と人類の恒久平和を求める願いのシンボルとして、1996年世界遺産に登録されました。

「⑤原爆ドーム前」バス停から徒歩すぐ
「⑥平和公園前」バス停から徒歩約8分

C 広島平和記念資料館

1955年8月に、原爆による被害の実相を世界中の人々に伝え、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に寄与するため設置されました。被爆資料の展示のほか、原爆が投下された経緯や核時代の現状などを解説しています。

7:30〜19:00（入館は閉館30分前まで）、8月は7:30〜20:00（8/5・8/6は7:30〜21:00）、12月〜2月は7:30〜18:00、12/30-12/31は休館
¥大人200円（65歳以上100円）、高校生100円、中学生以下無料
「⑥平和公園前」バス停から徒歩約1分
「⑤原爆ドーム前」バス停から徒歩約8分

D 縮景園

広島藩主浅野長晟が、入国の翌年1620年から別邸の庭園として築庭。1783年の「天明の大改修」により、ほぼ現在の姿が作られました。1940年に国の名勝に指定されました。

9:00〜18:00（入園は閉園30分前まで）9月〜3月は9:00〜17:00、12/29〜31は休園
¥一般350円、大学生150円、高校生以下・65歳以上無料
「②⑨県立美術館前」バス停から徒歩約5分 ☎082-221-3620

E 広島県立美術館

広島県ゆかりの美術、日本とアジアの工芸、1920〜30年代の美術をテーマに現在5,200点以上の美術品を所蔵。年間4回程度展示替えを行い、所蔵作品を開催しています。

9:00〜17:00（入館は閉館30分前まで）、開館時間が延長となる期間あり、月曜日（祝日及び振替休日、特別展会期中を除く）及び年末年始休館
¥所蔵作品展：一般510円、大学生310円、高校生以下・65歳以上無料
「②⑨県立美術館前」バス停から徒歩約2分 ☎082-221-6246

F ひろしま美術館

モネ、ルノワール、ゴッホなどの印象派を中心としたフランス近代美術の中から約90点を常設展示。
その他、日本画を含む明治以降の日本近代美術を所蔵し、年5〜6回の特別展も随時開催しています。

9:00〜17:00（入館は閉館30分前まで）、特別展開催時を除く月曜日（祝日の場合は翌平日）及び年末年始休館
¥展覧会ごとに設定（コレクション展示の鑑賞を含む）
「④ひろしま美術館前」バス停から徒歩約3分 ☎082-223-2530

G 広島市現代美術館

幅広いラインナップの特別展、多角的なテーマで作品を展示するコレクション展などで、多彩な現代美術の魅力を紹介します。広島ならではの特徴ある展示内容も見どころのひとつ。建築家・黒川紀章が手がけた建物や周囲の自然散策も一緒に楽しめます。

10:00〜17:00（入館は閉館30分前まで）、月曜日（祝日・8/6の場合は翌平日）及び年末年始休館
¥コレクション展：一般350円（65歳以上150円）、大学生250円、高校生150円
※特別展については広島市現代美術館にお問い合わせください。
「⑩現代美術館前」バス停から徒歩約2分 ☎082-264-1121